

2022 秋の大運動ニュース no.1

2022年9月18日（日）

保育・学童保育・子育て支援の充実を求める
秋の大運動大阪実行委員会

連絡先) 大阪保育運動連絡会 TEL06-6763-4381
実行委員会の構成：大阪保育運動連絡会・大阪学童保育連絡協議会・
大阪自治労連（保育部会/指導員労組連絡会）・
全国福祉保育労働組合大阪地方本部・社会福祉施設経営者同友会

秋の
大運動
はじまります



◎前半のとりくみ予定

9月18日 スタート集会
10月中旬～11月中
自治体キャラバン
10月25日 国署名一次べ切
11月2日 国会要請行動
11月3日 全国保育大集会
日比谷野外音楽堂

☆秋の大運動とは一願いを届ける運動

働く保護者、保育者たちの願いをもとに、「秋の大運動」は毎年、保育・学童保育・子育て支援の充実のため国や大阪府や市町村に制度の改善を求めてきました。

誰もが安心して子どもを生み育てられ、子どもが元気に笑顔で育ってほしい。あたりまえのこととして入園・入所でき、子どもたちによりよい環境で育ってほしい…。でも、入所できない、保育室がギューギュー詰め、先生が大変そうで話しかけづらい、先生不足が理由でいろんな整備が進まない、保育料や経費の負担が重い…など「改善してほしいこと」は今もたくさん潜んでいると思います。秋の大運動では、こうした願いを署名にすることで、多くの人（友だち、会社の人、家族・親せき、地域の人たちなど）に知ってもらい、賛同を広げてきました。

署名は、国会・府議会・（市町村議会）に届けられます。また議員さんとも懇談し状況を伝えていきます。こうした活動を通じて保育所や学童保育の課題が多くの人たちや議会に伝わり、改善につながってきました。

今年も、子どもたちのために、保育者が元気に働き続けられるように、保護者が安心して働き子育てできるように、みんなで力をあわせて秋の大運動にとりくみましょう。

☆実行委員長のご挨拶

大阪の実行委員長は5つの団体で順番に担っています。今年は大阪学童保育連絡協議会会長の松林さんです。松林さんは、堺市の保育・学童保育の保護者OBで、働きながら子育てをしている仲間です。

今年度も「保育・学童保育・幼稚園・子育て支援の充実を求める秋の大運動」が始まりました。保育・学童保育は、子どもたちの豊かな育ちと保護者が安心して子育てができる社会の実現にとって必要不可欠な社会資源ですが、就学前教育への予算がOECD諸国平均の三分の一の低水準となっているなど、保育や子育ての予算がとても少ないのが実情です。一方で、国は2023年度から「子ども家庭庁」を創設し、子ども関連の予算の増額をめざすと明言しており、子育ての施策や予算を拡充させるチャンスでもあります。予算の増額、配置基準の改善、保育士・学童保育指導員の不足解消や処遇改善などの実現をめざすことは、子どもが安心して豊かに育ちあえる社会、子どもの権利保障が大切にされる社会の実現をめざすことです。5団体が力を合わせて、私たちの切実な願いと声を集めて、その実現に向けて取り組みをすすめていきましょう。

2022 秋の大運動実行委員長・松林高志

☆秋の大運動のなかま

保育・学童保育に関係する五つの団体が構成されています。一緒にとりくむ団体を紹介します。

◎大阪保育運動連絡会(だいほれん)

子どもと働く者（保護者・保育者）
の生活と権利を守るために



保育所・幼稚園の内容向上、保育者の処遇改善の運動をすすめることを目的とし活動はニュースの発行、学習、保育政策の改善のため調査研究と合わせ要求実現ため署名や請願行動などを行います。大保連の目的に賛同する団体（保育園・保護者会・労働組合など）と個人（保護者・保育者・研究者など）で構成しています。

◎大阪学童保育連絡協議会(がくほきょう)

学童保育が必要なすべての子どもが入所でき、安心ですこやかに育ちあえることをめざし活動しています。かけがえのない子ども時代、豊かな共同の子育てを大切に、地域の保護者会・連絡協議会・指導員（支援員）会などでつながっています。情報交流をしながら、国・府に向けて施策充実を求めています。また学童保育の改善や質の向上にむけた調査・研究、指導員研修などを行っています。



◎大阪自治体労働組合総連合(じちろうれん)

大阪府内の自治体(府・市町村)や公共施設などの職員でつくる労働組合です。子育て支援に関わって、保育所・認定こども園・子育て支援センター・子ども家庭センター・障がい児通所施設・学童保育などの保育士・保育教諭・指導員・相談員・調理員・用務員・事務職など様々な専門職がいます。

すべての子ども達の権利が守られる社会、誰もが安心して暮らせる社会をめざして、コロナ禍や大きな災害時でも公立施設・事業の役割が果たすことができるよう、法制度の拡充・改善、労働者の賃金の引き上げや処遇改善をともめて運動しています。

◎全国福祉保育労働組合大阪地方本部(ふくほろう)

大阪府内の民間（私立）の保育園や、高齢者介護、障害児者施設・児童養護施設・福祉団体等の福祉職場で働く職員でつづっている労働組合です。

「子どもの笑顔・発達保障・命を守りたい」「この仕事をずっと続けたい」など労働者の思いを実現するためにも、全産業月平均に比べ約8万円低い保育労働者の賃金の引上げ、労働基準法が守られる職員配置等、処遇改善・制度拡充をめざしています。

◎社会福祉施設経営者同友会(どうゆうかい)

同友会は「権利としての社会福祉を守り発展させる」ことをめざし大阪で発足しました。高齢、障害等分野を超えて学びあい、運動をしています。保育分野では大阪府内の民間(私立)保育園の管理職のメンバーが、福祉全般を視野に広げ、民主的な経営を守るために、情勢学習を行い、全国や自治体の情報交流を行い、みんなで知恵を出し合い行動しています。同友会は今年度で発展的解消を行い、社会福祉経営全国会議（全国会議）の大阪支部になりますが、今後とも子どもたち、保護者、職員のために、処遇改善、制度拡充をめざし、みなさんと共に運動していきます。

「秋の大運動」が始まりました。子どもたち・大人たちの「思い」「願い」を集め届ける大切なとりくみです。

* 私たちの願いを多くの方から賛同いただく「署名活動」。

* 府内 43 市町村の保育・学童保育担当課と情報共有・意見交換をする「自治体キャラバン」。

など、すすめていきます。

学習会や交流もしながら、

子どもの育つ環境や子育て支援

について、思いをだしあっていきましょう。

